TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE
1-3 KAGURAZAKA, SHINJUKU-KU, TOKYO 162-8601, JAPAN
Phone: +81-3-3260-4271

2024 年 9 月吉日

報道関係者　各位

東京理科大学 創設者シリーズ 第 2 弾 企画展「富士山観測」
～日本気象学の礎を築いた中村精男と和田雄治～ 内覧会開催のご案内

東京理科大学（学長：石川 正俊）は、創立 150 周年（2031 年）に向けた本学の歴史を振り返る企画として、21 人の創設者たちの功績を辿る連続企画を開催しています。

昨年開催した初代東京物理学校校長の寺尾壽没後百年を記念した企画展につづき、今年はシリーズ第 2 弾として、中央気象台（現在の気象庁）で日本の気象事業の発展に貢献した中村精男と和田雄治に焦点を当てます。（企画展会期：2024 年 9 月 26 日（木）～12 月 14 日（土））

中村は、第 3 代中央気象台長を 28 年間務め、同時期に、本学の前身である東京物理学校の第 2 代校長を 34 年間務めました。和田は、中央気象台では台長に次ぐ職位に就き中村台長を支え、ともに気象事業の推進に尽力しました。

本企画では、彼らが 1880 年にお雇い外国人のメンデンホールらとともに行った日本初の本格的な富士山での重力測定実験を紹介し、未知の分野であった高山観測や気象観測を切り拓いた歴史を紐解きます。また、富士山で初の冬季レスキューと言われる、野中到（至）・千代子を救助した和田の功績についても紹介します。

企画展に先だち、下記のとおり内覧会を開催しますので、ご多用のこととは存じますが、ぜひ取材いただきたくご案内申し上げます。

ご来場の際には、本学広報課へ 9 月 20 日（金）15:00 までにご連絡いただければ幸いです。

記

日　時　：　2024 年 9 月 25 日（水）14:00～15:00
会　場　：　東京理科大学 神楽坂キャンパス 近代科学資料館（二村記念館）
次　第　：　(1) オープニングセレモニー　14:00～
　　① 理事長挨拶　浜本　隆之　理事長
　　② 学長挨拶　　石川　正俊　学長
　　(2) 内覧会　14:15～

以 上

〈展示の見どころ〉

1882 年の日本気象学会の創立とともに刊行が開始された機関誌「気象集誌」をはじめ、「中央気象台欧文報告」「日本環海海流調査業績」など、中村の蔵書を中心とした明治・大正期の本学所蔵の書籍を紹介します。

そのほか、ロビンソン式風力計や転倒ます雨量計、自記温度計などの観測機器、富士山測候所建設の寄付金を募るため作成された冊子「富士山巓観象臺」、世界共通言語としてのエスペラント語の普及に尽力した中村への追悼集としてエスペラント語で書かれた論文集「Verkoj de D-roNakamura」など、企画展に際し各所から借用した貴重な資料も展示します。

〈ご参考〉

本企画展会期中には、以下のトークイベントを予定しております。併せてご取材、ご紹介いただけますと幸いです。

・「近代気象学の先駆者・中村精男：吉田松陰と松下村塾の影響を踏まえて」講演

日　時：10 月 26 日(土) 14:00～15:00

講　師：牛見 真博　大島商船高等専門学校　教授

・「富士山での大気観測」講演

日　時：11 月 9 日(土) 15：00～16:00

講　師：三浦 和彦　東京理科大学理学部第一部物理学科 嘱託教授

NPO 法人富士山測候所を活用する会　理事長

【本件に関する問い合わせ先】
東京理科大学　広報課（担当：木村・野中）
TEL：03-5228-8107
E-mail：koho@admin.tus.ac.jp

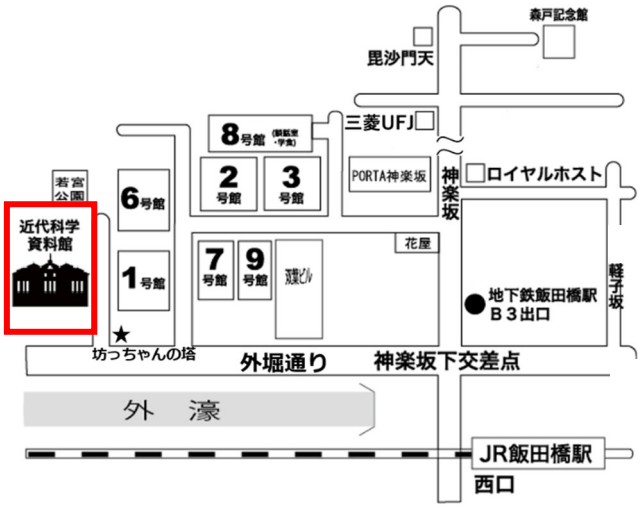
〈アクセス〉

東京理科大学　近代科学資料館

〒162-8601　東京都新宿区神楽坂 1-3　TEL：03-5228-8107（広報課直通）

○　JR 中央線　：　飯田橋駅（西口）より徒歩 5 分

○　東京メトロ　：　飯田橋駅　B3 出口より徒歩 3 分



東京理科大学
Museum of Science, TUS

東京理科大学 創設者シリーズ 第2弾

富士山観測

Observation at the summit of Mt. Fuji

～日本気象学の礎を築いた中村精男と和田雄治～

From the Thomas C. Mendenhall Collection.
Worcester Polytechnic Institute.

入館無料

2024年
9/26(木)～12/14(土)
[水・木・金]12:00～16:00　[土]10:00～16:00

東京理科大学 近代科学資料館
[2F] 多目的室
〒162-8601
東京都新宿区神楽坂1-3
tel.03-5228-8224(開館時間のみ)

神楽坂 まち飛びフェスタ
2024

東京理科大学 創設者シリーズ 第2弾

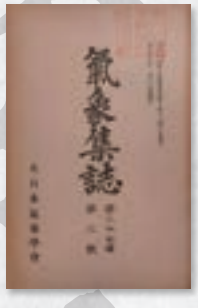
富士山観測

Observation at the summit of Mt. Fuji

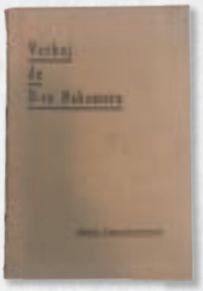
～日本気象学の礎を築いた中村精男と和田雄治～

ロビンソン式風力計
〈気象庁大気海洋部 観測整備計画課気象測器検定試験センター所蔵〉

「富士山巓観象臺」
観象臺設置費凡十五万圓　新聞雑誌の原稿
1900（明治33）年2月28日発行
〈富士山測候所を活用する会所蔵〉



「気象集誌」和田雄治追悼号
（第37章　第2号）
大日本気象学会
1918（大正7）年2月10日発行
〈東京理科大学図書館所蔵〉

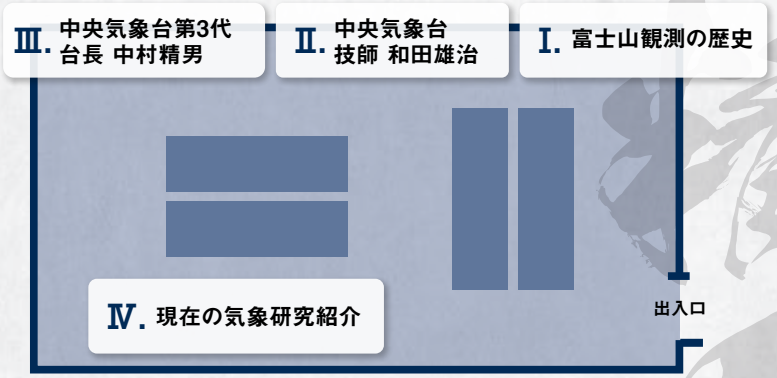


「Verkoj de D-ro Nakamura」
中村精男論文集
日本エスペラント学会（現：協会）
1932（昭和7）年5月15日発行
〈日本エスペラント協会所蔵〉

東京理科大学の前身である東京物理学校の創設者21人を紹介するシリーズ第2弾は、中央気象台（現在の気象庁）で日本の気象事業の発展に貢献した中村精男と和田雄治に焦点を当てます。

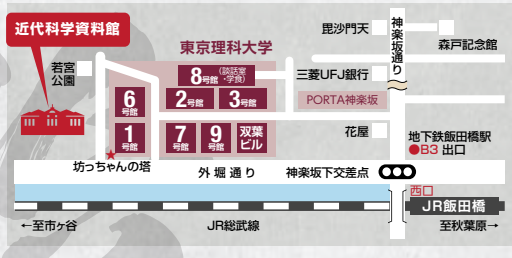
中村精男（長州藩出身1855-1930）は、松下村塾で学び、東京大学理学部卒業後、内務省に奉職。ドイツ留学を経て中央気象台技師となり、第3代中央気象台長を28年間務めました。また、同じ時期に第2代東京物理学校長となり、34年間その職にありました。

和田雄治（陸奥国二本松藩出身1859-1918）は、東京大学理学部卒業後、内務省に奉職、中央気象台では台長に次ぐ職位に就き中村台長を支え、在職中、気象学者の野中至（到）の富士山越冬気象観測に協力しています。その後、朝鮮総督府観測所長となり、朝鮮半島の気象事業の推進に尽力しました。彼らが1880年にお雇い外国人のメンデンホールと物理学を学んでいた田中館愛橘ら学生とともに行った日本初の本格的な富士山での重力測定実験を紹介し、未知の分野であった高山観測や気象観測について展示します。



期　　間	2024年9月26日（木）～12月14日（土）
開館時間	水・木・金 12:00～16:00／土 10:00～16:00
休 館 日	日曜・月曜・火曜・祝日
場　　所	東京理科大学 近代科学資料館 2F多目的室
住　　所	〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
T E L	03-5228-8224（開館時間のみ）
主　　催	東京理科大学 近代科学資料館
展示協力	一般財団法人日本エスペラント協会／ウースター工科大学（WPI） 気象庁大気海洋部 観測整備計画課気象測器検定試験センター／萩博物館 新宿区立新宿歴史博物館／認定NPO法人富士山測候所を活用する会 東京海洋大学明治丸海事ミュージアム／福島県二本松市教育委員会

入館無料



「JR 飯田橋駅」西口 徒歩４分
「地下鉄飯田橋駅」B3出口 徒歩３分

～ 関連トークイベント ～

10月26日（土）
14:00～15:00
「近代気象学の先駆者・中村精男：吉田松陰と松下村塾の影響を踏まえて」講演
講師 牛見 真博 大島商船高等専門学校 教授

11月9日（土）
15:00～16:00
「富士山での大気観測」講演
講師 三浦 和彦 東京理科大学理学部第一部物理学科 嘱託教授
NPO法人富士山測候所を活用する会　理事長

関連講座「ふりこを学ぶ、ふりこであそぶ」

事前申し込み・詳細は当館HPへ!

<右記は開館しています>　11月23日（土）・24日（日）「理 大 祭」

FSC www.fsc.org
ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C012064